

各位

上場会社名 株式会社 ナイスクラップ
 代表者 代表取締役社長 菊地 博巳
 (コード番号 7598)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 杉山 敏朗
 (TEL 03-6418-4649)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年3月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年1月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成21年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,440	200	203	79	7.56
今回発表予想(B)	5,639	△39	△26	△86	△8.28
増減額(B-A)	△800	△239	△229	△165	
増減率(%)	△12.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年1月期第2四半期)	6,304	181	197	117	10.95

平成22年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,025	470	477	197	18.86
今回発表予想(B)	11,889	150	167	△27	△2.59
増減額(B-A)	△1,135	△319	△309	△224	
増減率(%)	△8.7	△67.9	△64.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	13,070	499	504	214	20.07

平成22年1月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成21年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,112	190	193	77	7.37
今回発表予想(B)	5,281	△24	△14	△69	△6.62
増減額(B-A)	△830	△214	△207	△146	
増減率(%)	△13.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年1月期第2四半期)	5,977	158	167	155	14.47

平成22年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,370	450	457	189	18.10
今回発表予想(B)	11,206	205	219	6	0.65
増減額(B-A)	△1,163	△244	△237	△182	
増減率(%)	△9.4	△54.4	△51.9	△96.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	12,418	469	471	259	24.24

修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間

昨年秋の米国発の金融危機に端を発した世界同時不況の影響により、企業収益の大幅な悪化や雇用情勢の悪化等厳しい経営環境となりました。当社グループの所属するアパレルないし小売業界におきましては、消費者の生活防衛意識の高まりから個人消費の低迷は顕著となりました。

このような状況のなか、海外から低価格戦略ブランドの日本への参入もあり、消費者の低価格志向も強まり、売上高は前回予想を下回る結果となりました。売上総利益は、在庫のコントロールに努め、前中間連結会計期間56.9%から57.3%と若干の改善がありました。営業利益、経常利益は売上高の減少により前回予想を大きく下回り損失となりました。また、特別損失に、効率を重視した直営店の不採算店の退店による固定資産除却損23百万円、不採算店舗の内装設備について減損損失44百万円(前回特別損失予想33百万円)を計上いたしました。

以上により、連結売上高5,639百万円(前回予想12.4%減)、連結営業損失39百万円(前回予想 営業利益200百万円)、連結経常損失26百万円(前回予想 営業利益203百万円)、連結四半期純損失86百万円(前回予想 四半期純利益79百万円)に修正いたしました。

個別業績は、同様の理由により、売上高5,281百万円(前回予想13.6%減)、営業損失24百万円(前回予想 営業利益190百万円)、経常損失14百万円(前回予想 営業利益193百万円)、四半期純損失69百万円(前回予想 四半期純利益77百万円)に修正いたしました。

(2) 通期

通期の業績予想につきましては、一部に景気の底入感はあるものの依然として予断を許さない状況にあり、雇用情勢については悪化を続けており、個人消費の回復は見込めない環境が継続するものとして、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ修正いたしました。

商品政策の見直し等により売上高の回復に努めていくとともに、適正在庫による売上総利益率の向上、人件費を含む経費の削減等により、営業利益、経常利益の確保に努めてまいる予定であります。また、引続き、不採算店舗の退店を進めて特別損失通期123百万円(前回予想63百万円)の計上を予定しておりますが、一方、新規出店も行い店舗数は第2四半期末と同数程度を予定しております。

以上により、連結売上高11,889百万円(前回予想8.7%減)、連結営業利益150百万円(前回予想67.9%減)、連結経常利益167百万円(前回予想64.9%減)、連結当期純損失27百万円(前回予想 当期純利益197百万円)に修正いたしました。

個別業績は、売上高11,206百万円(前回予想9.4%減)、営業利益205百万円(前回予想54.4%減)、経常利益219百万円(前回予想51.9%減)、当期純利益6百万円(前回予想96.4%減)に修正いたしました。

以上